

まちづくり交付金 事後評価シート  
藤枝中心市街地活性化地区

平成21年12月

静岡県藤枝市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	藤枝市		地区名	藤枝中心市街地活性化地区		面積	223.7					
交付期間	H17～H21	事後評価実施時期	H21		交付対象事業費	3,578百万円	国費率	37.5%						
1) 事業の実施状況	事業名													
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業(小川青島線1路線)、公園整備、青木土地区画整理事業											
		提案事業	藤枝駅橋上駅舎改修事業、駅周辺まちづくり推進事業											
			事業名				削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし											
		提案事業	なし											
新たに追加した事業	基幹事業	道路事業(市道4地区357線ほか)			まち交事業実施に伴うバリアフリーニーズの増加を考慮し事業を追加			影響なし ※指標の「定住人口」「藤枝駅一日平均乗車人員」「公共施設利用者数」「宿泊客数」に関連するが、影響が軽微であることから影響なしとした。						
		地域生活基盤施設(耐震性貯水槽、防災倉庫)			安心で安全な居住環境の向上を図るべく、災害時の地域防災拠点の施設整備を追加			影響なし ※指標の「定住人口」に関連するが、影響が軽微であることから影響なしとした。						
		(仮称)新図書館整備事業(用地取得)			『藤枝市中心市街地活性化基本計画』の策定に伴い、中心市街地内にぎわいを醸成する事業として追加			指標「公共施設利用者数」の追加						
	交付期間の変更	当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	定住人口	人	38,516	H15	39,600	H20	モニタリング	評価値	40,100	○	あり なし	・道路整備や土地区画整理事業により、農地から宅地への土地利用転換を促した。 ・事業外要因として、民間マンションの建設など、量としての住宅供給がなされ、定住人口が増加した。 ・住環境の利便性向上に資する施設が整備され、転出人口の抑制に寄与した。	H22.6
	指標2	藤枝駅一日平均乗車人員	人	12,195	H16	12,000	H21			11,500	△	あり なし	● 駅舎改築事業や駅前広場のバリアフリー化整備により、乗車人数の減少幅が抑えられた。 ・改善は見られたが、車社会の進展、都心への一極集中傾向により、目標は未達成となった。	H22.6
	指標3	公共施設利用者数	人	722,596	H16	920,000	H21			974,000	○	あり なし	・新設図書館の整備により、利用者は増加に転じた。 ・他の対象施設では減少傾向にあったが、減分を図書館利用者の増加で充足している。	H22.6
	指標4	宿泊客数	人	50,052	H16	52,430	H21			80,000	○	あり なし	・中心市街地の公共施設整備による利便性向上が宿泊客数増加に寄与した。 ・直接的な要因としては、大規模プロジェクトにより向上したビジネスニーズ及び、中心市街地に宿泊施設が新設されたことにより、宿泊客数が増加した。	H22.6
	指標5										あり なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1							モニタリング	評価値					
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	・本計画の履行に伴う複合的な事業の実施により、市内の横断的な検討・調整が継続して実施され、市内連絡体制の緊密化、円滑化が図られた。 ・良好なまちづくりを推進するため、「藤枝市中心市街地活性化協議会」や「まちづくり会社藤枝」等、市民主体の組織が設立されるなど民間レベルでの活動が展開されるようになった。													
5) 実施過程の評価	実施内容													
	モニタリング	なし	実施状況								今後の対応方針等			
	住民参加プロセス	・青木まちづくり委員会の開催 ・駅南近隣公園ワークショップの開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた			●			・委員会の枠組みを活かし、当該地区に係るまちづくりにおける住民からの主体的な提案など、行政との協働体制を維持する ・里親活動など地域活動を通じた、新旧住民間での地域コミュニティの醸成が期待される			
		同上			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			○			・WSで培われたコミュニティの継承を図る ・行政においては、今後の同種計画において、本WSのノウハウを活かして積極的に住民参画手法の取り入れを行う			
持続的なまちづくり体制の構築	同上	都市再生整備計画に記載し、実施できた			●			同上						
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			○									
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												

## 様式2-2 地区の概要

藤枝中心市街地活性化地区(静岡県藤枝市) まちづくり交付金の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
JR東海道線藤枝駅周辺の中心市街地において、まちづくりに必要な事業を総合的に推進し、藤枝市の「表玄関」の活性化を図る。		定住人口	単位:人	38,516 H15	39,600 H20	40,100 H21
		藤枝駅一日平均乗車人員	単位:人	12,195 H16	12,000 H21	11,500 H21
		公共施設利用者数	単位:人	722,596 H16	920,000 H21	974,000 H21
		宿泊客数	単位:人	50,052 H16	52,430 H21	80,000 H21
<p> <b>■ 基幹事業</b>              区画整理事業              道路 市道4地区357号線              地域生活基盤施設              基幹事業              基幹事業 街路              地域生活基盤施設              街路              中心市街地活性化地区              中心市街地活性化基本計画区域         </p> <p> <b>○ 関連事業</b>              青木地区 35.7ha 土地区画整理事業(道路特会)              藤枝駅北口広場整備南北自由通路改築事業              藤枝駅橋上駅舎改築関連事業              藤枝駅南口西地区ABC街区開発事業         </p> <p> <b>□ 提案事業</b>              まちづくり活動推進事業              駅周辺まちづくり活動推進事業              地域創造支援事業              地域創造支援事業         </p> <p> <b>凡例</b>              ■ 基幹事業              □ 提案事業              ○ 関連事業         </p> <p>             0 200 400 600 800 1,000         </p> <p>             藤枝駅橋上駅舎改築事業              BiVi藤枝計画 新図書館整備事業              小川青島線              青木地区土地区画整理事業         </p>						
まちの課題の変化	<p>                     &lt;居住環境の整備&gt;                      ・住宅の供給がなされ、定住人口を増加へと促したが、一方で高齢世代、子育て世代など多様化したニーズに対応した付加価値機能が不足している。                      ・WS等の開催により従来の住民間のコミュニティ向上は達成されたが、新たな住民と従来からの住民間のコミュニティの向上が必要とされる。                      &lt;中心市街地のにぎわい向上&gt;                      ・特定拠点での集客力の向上は図られた一方で、中心市街地でのにぎわい(人の往来)はマイナス傾向にあり、集客施設整備の効果が全体へ波及したとは言えない。                      ・宿泊を中心としたビジネスニーズへの対応は図られたが、買物・余暇等の多様なニーズへの対応が不足している。                      ・臨空拠点都市としての対応をなすための都市機能の充足が必要とされる。                      &lt;安心・安全なまちづくり&gt;                      ・安心・安全なまちづくりに対する意識への対応が必要とされる。                 </p>					
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>                     &lt;居住環境の整備&gt;                      ・住宅供給やソフト活動など、第一期計画で達成された事項の継続を図る。                      ・住民の多様化、人口構成の変化への対応として、多様なニーズを充足可能な住環境の整備(各種福祉環境、生涯学習環境の整備など)を図る。                      ・新旧住民間のコミュニティ醸成に向けた、更なるソフト事業の充実を図る。                      &lt;中心市街地のにぎわい向上&gt;                      ・集客施設の整備を継続すると共に、それらの集客性を街中に波及させるよう、滞留性、回遊性の向上を図り、中心市街地全体のにぎわい向上を目指す。                      ・宿泊施設の整備は継続し、かつビジネス目的以外(買物、余暇等)の多様なニーズへの対応を目指す。                      &lt;安心・安全なまちづくり&gt;                      ・震災等の災害に対応した避難施設、避難経路の整備を行うことにより、防災環境の向上を図る。                      ・行政、市民の連携により治安向上を図り、防犯環境の構築に努める。                 </p>					